

とっばずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2432



円福寺五重塔と銚子大仏 提供：石井 哲也 会員

銚子RC・銚子東RC合同例会

第2432 例会 令和5年1月25日

点 鐘 … ホストクラブ銚子RC
高瀬 幸雄 会長
国 歌 … 君 が 代
ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想
来訪ロータリアン紹介

… ホストクラブ銚子RC
親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … ホストクラブ銚子RC
高瀬 幸雄 会長

幹 事 報 告 … ホストクラブ銚子RC
淵岡 彰介 幹事

卓 話
「喜ばれる不可思議」
千葉科学大学 入試広報部
参与 宇田川 敬介 氏

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会
(両クラブ)

来週のパログラム (令和5年1月31日)

卓 話
「未定」 千葉県議会議員 宮川 太 氏

お食事「銚子プラザホテル」



IMAGINE ROTARY

イマジン ロータリー

2022-2023 年度 RI 会長 ジェニファー E. ジョーンズ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) **みんなに公平**か
- 3) **好意と友情**を深めるか
- 4) **みんなのためになる**かどうか

第2431回例会(令和5年1月17日)

会長挨拶

石毛 園子

本日は、ロータリーの友12月号の日本語版(縦文章版)の中にある「友愛の広場」より、1つご紹介いたします。山口南RCの加藤慶昭さんの文章です。後段部分より、加藤会員のロータリーに対する思いが伝わっていましたのでご紹介いたします。「自分の生業とロータリーについて考えた。私のロータリー歴もこの7月で22年目を迎えた。入会当時はバブル崩壊後で経営が厳しく、発足間もない事業は先行き不透明で、不安の渦中にあった。それでも有力な得意先の紹介でもあり、心機一転、意を決しての入会であった。

そこで最初に出会ったのが「四つのテスト」。私に経営者としての覚悟を迫るかのような言葉であった。…中略そしてロータリーの理念。自らの職業を通して社会に貢献すること、つまり職業奉仕である。職業に貴賤はない、社会において有用な職業であれば存在意義はある。つまり事業として成り立つはずだ、という理念である。このロータリーの理念を心に刻んだことが出発点となった生業が、間もなく24年を迎える。日本において企業の平均寿命は30年といわれる。中略・時代の変化にいかに対応し存続させていくかは、すべての事業者にとって永遠のテーマだが、私は今後も「四つのテスト」を心の支えとしたい。

幹事報告

- 1・RI財務部より
国際ロータリー人頭分担金請求書 受領
- 2・ガバナー事務所より
・国際奉仕セミナーZOOM参加ご案内
・米山 新規奨学生世話クラブ募集のお願い
・2023年決議審議会決議案提出のお願い
・2023-24年度RID2790補助金管理セミナーZOOM参加者へのご案内 受領
- 3・ロータリー米山記念奨学会より
・ハイライトよねやま274
・2022-23年度下期普通寄付金のお願い 受領

- 4・千葉科学大学おうえん協議会より
2022年度第2回理事会開催について 受領
- 5・例会変更のお知らせ
八日市場RCより
1/31(火) 休会 定款により 受領

卓話

「IOWN 構想 -IOWN で変わる私たちの仕事と働き方-」

銚子ロータリークラブ 山本 肇 氏

「環境にやさしい持続的な成長、多様性に寛容な個と全体の最適化を図る」というゴールをめざし、NTTグループと世界が



手を組んで研究開発が進む、未来のコミュニケーション基盤 IOWN (アイオン) は私たちの仕事や働き方をどう変えていくのでしょうか。本日は千葉県、そして銚子市の代表的な産業の一つである農業と漁業をケーススタディとして IOWN の活用を展望します。

●IOWN 構想とは

IOWN (アイオン) 構想とは、NTT が2019年5月に発表した、ICTインフラ基盤構想です。従来の電子技術(エレクトロニクス)から光技術(フォトニクス)にシフトし、より「低遅延」「低消費電力」「大容量・高品質」のネットワークを2024年の仕様確定、2030年の実現をめざして研究開発が進められています。

デジタル技術の発展によって、映像の超高精細化などさまざまな技術革新がこれまで生まれてきました。今後、さらなる進化を遂げるためには、発想の転換が求められます。そのため、IOWN 構想では人間だけの価値観でフィルタリングせず、より多様な価値観・知覚を通して、ありのままの現象・情報を捉えるようにすることが重要だと定義しています。

その1つの指針となる考え方は、ドイツの生物学者であるヤーコブ・フォン・ユクスキュル博士が提唱した「環世界」。すべての生物は種特有の知覚システムを有しており、それぞれが種特有の知覚世界を持ち、その主体として行動する。つまり、見る主体によって物の見え方は異なり、それぞれの価値観に応じて伝えるべき情報も処理の仕方も変わってくるという考えです。

IOWN 構想では、デジタル技術を活用してさまざまな環世界で情報を捉え、人間がストレスを感じることなく自然に享受できる心地良い状態「ナチュラル」になるこ

とを追求します。

●ケース#1 農業

Q. 農業と IOWN はどのように結びつくのでしょうか？

A. 昨今、さまざまな産業分野において AI や高速光インターネットなどの新しい情報通信技術を積極的に活用し、業務を自動化・高度化しようとする DX の機運が高まっています。農業も例外ではありません。

農業では、農作物を栽培して収穫する生産のほか、収穫した作物の販売、資材や農作機械の調達、作業従事者の募集や賃金支払い、全体的な収支計画を立案する経営など、多様な業務があります。これらの業務の自動化・高度化に情報通信技術が重要な役割を果たすと考えられます。これまで日本の農業については、農業従事者の高齢化と減少、荒廃した農地の増加、経営規模の小ささなどが解決すべき課題として挙げられてきました。情報通信の積極的な活用は、これらの課題を解決する切り札の1つとしても、大きな期待が寄せられています。

また、少し違う視点から農業 IoT というキーワードも普及してきました。これは、主に栽培において、生育に関するさまざまなデータの収集と蓄積、取得した大量のデータの分析と予測、その結果に基づく設備の自動制御などを実現して、収穫量の予測や病害発生リスク低下を可能にし、栽培の自動化と効率化を狙おうとするものです。

いずれにしても、農業への情報通信技術の導入は、苦勞が多いものと考えられてきた農作業の方法を大きく変え、農業労働における働き方を劇的に改革する可能性を秘めていることがお分かりいただけるかと思います。そしてそれは、IOWN の活用によって、さらに高度化することは間違いありません。

●ケース#2 漁業

Q. 漁業と情報通信技術にはどのような接点があるのでしょうか？

A. 農業と並んで、同じく第一次産業である漁業の分野においても、近年、デジタルトランスフォーメーションの潮流が押し寄せています。漁業の特徴は、「自然に育った生物を探し出して捕獲する」という点にあるのではないのでしょうか。また、漁業の活動フィールドが人間の活動に大きな制約を受ける環境での作業を要することも漁業の特徴です。ほかの一次産業には見られない特徴を持ち、DX の推進が容易でなかろうと思われる漁業ですが、この分野でもスマート化に向けた動きが進んでいます。

今回は株式会社レイヤーズ・コンサルティング、NEC ネットアイ株式会社、東京大学などとともに、NTT ドコモが 2021 年に取り組んだ事例を紹介します。舞台は広

島県江田島市のカキ養殖場です。広島のカキ養殖は、海面に浮かべたカキ筏から、若いカキが付着したたくさんのホタテ貝の貝殻を海中へ吊り下げる形で行われています。そのようにして養殖されるカキの中には、付着する生物の影響や海中の環境変化を受け、死んでしまうものもあります。

しかし、そのような個体が増えると生産性が低下してしまうため、これまでは人間が潜水して生育状況や海況を観察して、必要な対策を行ってきました。この実証実験では、そのようなカキ養殖の現場へローカル 5G や海中ドローンを導入。生育状況や海況の観察をドローンによって無人化・リモート化するとともに、さまざまな環境データをセンサーによる取得可能なシステムの構築を目指しました。

実証では、陸上からの水中ドローン遠隔操作や海中状況の可視化、海中ドローンが映し出す高精細映像と養殖場一帯から得られた水温や塩分濃度などの環境データを組み合わせた養殖場環境の分析、海上におけるローカル 5G の通信品質の確認と海上におけるエリア構築の考察、ローカル 5G とキャリア 5G (通信事業者が提供する 5G サービス) の共用に関する検討、などが行われました。

●デジタルをナチュラルへ

IOWN 構想は、現状の ICT 技術を変革すると同時に、その限界を超えた新たな情報通信基盤の実現を目指しアナログから発展してきた“デジタルをナチュラルへ”変革するものだとされています。現在のデジタル技術は人間に少なからずストレスを与えています。例えば、家族でお出かけをするにしても、目的地の気候や電車の経路・乗車時間を調べたり、おすすめのレストランを探したりしますよね。スマホでそれらを調べようとした場合、それに見合った知識・技術・リテラシーが必要とされます。こうしたストレスすら感じることなく、技術を自然に享受できる心地いい状態を“ナチュラル”と捉えています。

IOWN 構想の実現は、このほかにも将来的に、センサーデータをリアルタイム分析し、未来を予測することで信号のない道路を実現したり、スポーツ中継などの大容量の映像を遅延なく伝送し、遠隔地での臨場感のある観戦や応援を可能にしたりする。また、ヘルスケア領域においても体温や血圧、心拍数などのバイオデータを活用して、いつ頃、どんな病気にかかりやすいのか、高度な未来予測も可能にあるかもしれません。

NTT グループは IOWN 構想で人とエネルギーのよりよい関係をつくりだし、カーボンニュートラルを実現していきます。また、スマート社会の実現に向けた研究開発にも注力して参ります。

以上

——ニコニコ——

銚子ロータリークラブ 山本 肇様

本日は卓話の機会を頂きましてありがとうございます！
よろしくお願いします。

職業奉仕 四つの反省

- 顧客に対して
最上の品質、最高のサービスを提供しているか。
常に、正直と親切を旨としているか。！
- 従業員に対して！
彼らの長所を十分認め、かつ買っているか。！
安全で快適な職場を確保しているか。！
苦情に対して公正な態度で対処しているか。！
自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。！
- 競争者に対して！
公正な態度で接しているか。！
あなたは行動をもって誠実を肝銘させているか。！
彼らと共に事業水準の高揚につとめているか。！
- 協力者に対して！
公正で友情に満ちた関係を保っているか。！
いつも支払いをよくしているか。

第7回定例理事会

日 時：令和5年1月17日（火）例会終了後
議 題

- | | |
|---------------------------|----|
| 1・2月例会スケジュールの件 | 承認 |
| 2・年末親睦会収支決算書の件 | 承認 |
| 3・米山奨学生世話クラブとカウンセラー引き受けの件 | 保留 |
| 4・退会者の件 | 承認 |
| 平野恭男会員 1/17付退会 | |
| 5・22-23年度中間決算報告の件 | 承認 |
| 一般会計（12月31日現在） | |

2月例会スケジュール

- 第1例会 2月7日
卓話「未定」
地区職業奉仕委員会 委員長 小野塚 雄 氏
- 第2例会 2月14日
卓話「未定」 丸山 正紀 会員
- 第3例会 2月21日
卓話「未定」
銚子税務署 署長 廣瀬 公一 氏
- 第4例会 2月28日
卓話「未定」
千葉科学大学RAC 木原 正稀 会員

前回の例会(1/17)報告

点 鐘 石毛 園子 会長

出席報告
 会員総数 28 名 出席規定除外数 3 名
 出席者 13 名 出席率 50.00 %
 12月20日 確定出席率 100 %

来訪ロータリアン
 山本 肇君 (銚子RC)

欠席者 13名

メイクアップ なし

スモールコインBOX	小 計 ¥ 1,300-
	累 計 ¥ 31,820-
ニコニコBOX	小 計 ¥ 3,000-
	累 計 ¥108,000-

銚子東ロータリークラブ 銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789
 メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>
 例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室
 会長 石毛園子 副会長 森はるみ 幹事 飯田貴之
 R. I 第2790地区 クラブ広報・会報委員会 黒田幸一・杉浦 武・石井哲也
 表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ 古 帳 庵
 江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに
 詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。